



選考理由

秋山、下野、そしてアルミンクと受け継がれてきた広響の名物シリーズ。定期公演ではなかなかできない、ちょっと風変わりな組み合わせの演奏会だ。今年から来年にかけては、ベートーヴェンの交響曲チクルス。毎回その交響曲にリームやクルタークらによる現代作品をミックス。その思いがけない調和を楽しみたい。アルミンクのトークを交えるなど、聴き慣れない音楽も難なく受け入れてしまう会場の親密な雰囲気もすばらしい。

(アフィニス文化財団オーケストラ助成委員 鈴木 淳史)

指揮
クリスティアン・アルミンク
Conductor: Christian Arming

広島交響楽団

シン・ディスカバリー・シリーズ

没後200周年ズ

Beethoven+
Hiroshima Symphony Orchestra (plus)
Discovery Series

Pre-200th Anniversary of Beethoven's Death



《STORIES》

リーム：3つのワルツより 第2番 ブラームス「愛のワルツ」

Rihm: Three Waltzes, No.2 Brahms Liebewalzer

ベートーヴェン：交響曲第2番ニ長調作品36

Beethoven: Symphony No.2 in D major Op.36

ベートーヴェン：交響曲第4番変ロ長調作品60

Beethoven: Symphony No.4 in B-flat major Op.60

コンサートマスター：北田千尋 Concertmaster: Chihiro Kitada

©Shumpei Ohsugi



vol.

2

2026 9.25 金 18:45開演
(17:45開場)

JMSアステールプラザ 大ホール

Friday September 25, 2026 Start 18:45 [Open 17:45] JMS Aster Plaza Hall

チケット料金
(税込/全席指定)

S:¥5,800 A:¥4,800 B:¥3,800 (学生:1,500円)

学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取扱い)

チケット発売日

2026年7月28日(火)

チケット取扱

広響webチケット、広響事務局
JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

- 主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社
- 共催/公益財団法人広島市文化財団
- 協賛/中国電力、ひろぎんホールディングス、広島電鉄、マツダ
- 後援/広島市、広島市教育委員会
- 助成/



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
| 独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人アフィニス文化財団

公益財団法人 合人社財団

〈お問い合わせ〉

広響事務局

082-532-3080



公式ホームページ

<http://hirokyo.or.jp/>

広島交響楽団

シン・ディスカバリー・シリーズ

没後200周年

Beethoven+
Hiroshima Symphony Orchestra
Discovery Series

Pre-200th Anniversary of Beethoven's Death

2027年のベートーヴェン没後200周年に向け、これから2年間かけてベートーヴェンの交響曲シリーズに取り組むことにしました。プレ・シリーズとなる今年度は、交響曲第1番から第6番「田園」までをお届けします。そして毎回ベートーヴェンにプラス(+)して現代の作品を紹介します。ベートーヴェンの交響曲が当時「革新的」であったように、今回紹介する現代作品も新たな発見に満ち溢れています。ソリストに迎える(指揮者の)大井駿さんと、友人のラインホルト・フリードリヒの素晴らしい演奏にもどうぞご期待ください。

広島交響楽団 音楽監督 クリスティアン・アルミンク



指揮：クリスティアン・アルミンク

Conductor : Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団首席客演指揮者、2024年からは同団の音楽監督を務めている。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマン管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで《カルメン》、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》(岡山公演では広響と演奏)、2026年1月には東海市芸術劇場で新演出の《蝶々夫人》を指揮した。レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲二短調などで高い評価を得ている。2025年には、広響音楽監督就任披露公演で取り上げたR.シュトラウス／アルプス交響曲、2026年4月には、被爆80周年の「平和のタベ」コンサートで演奏したマーラー／交響曲第4番のライブ録音をリリースした。



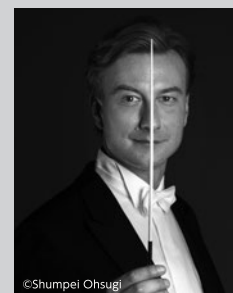
次回ディスカバリー・シリーズ

没後200周年プレ Beethoven+ vol.3

2026.11.28 (土)

15:00開演 (14:00開場)

JMSアステールプラザ 大ホール



指揮：クリスティアン・アルミンク



ピアノ：大井駿

■ジェルジ・クルターク：

ピアノと空間分散した楽器群のための「クアジ・ウナ・ファンタジア」作品27-1

■ベートーヴェン：交響曲第3番変ホ長調作品55「英雄」